

令和4年度高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議
新見部会研修会（第1回）

日時：2022年9月26日（月）13：30～15：30

会場：新見市役所南庁舎3階大会議室

参加人数：27名

テーマ：

「認知症が疑われる人に何が出来ますか～事例を介して考えましょう～」

今回の研修会は、認知症サポーター養成講座を受講された方、および認知症に関心を持っている一般の方を対象に、感染対策をしっかりと行った上、対面形式で開催いたしました。

当日の進行

- ・全体の司会進行 新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく 難波さん
- ・開会挨拶 新見市地域包括支援センター 大隅センター長
- ・事例検討、グループワーク
 - 進行とまとめ 部会長 土井先生
 - 事例1「徘徊している人に声をかけるには？」
 - 事例2「友達が認知症にかかったみたい…その時あなたは？」
当院副院長 兒玉
 - 事例3「知人から家族の認知症について相談を受けた…その時あなたは？」
当院精神保健福祉士 青木
- ・おしらせ 「安心して暮らせるまちを目指して」
新見市地域包括支援センター認知症地域支援推進委員 川上保健師
- ・閉会挨拶 部会長 土井先生

グループワークでは参加者3名、ファシリテーター1名の計4名のグループを9つ作り、事例をもとに参加者の方々が感じたことや、経験に基づいた話をしました。事例ではこうだったけれど実際に自分ならどうだろうか、こういう時には何が出来るのだろうか、思い思いに語り合い、活発な意見交換がなされていました。

昨今は新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインでの研修会が主となっておりますが、多くの方の協力のもと対面での研修会を開催することができました。ありがとうございました。

研修会の様子



事例視聴



グループワーク



質疑応答